

本部町ちゅらまちづくり応援寄附金による実施事業

令和2年度 寄附金による実施事業一覧

1.産業の振興及び魅力ある観光地づくりに関する事業

事業名	活用金額
本部町強い経済力形成事業	20,313,359 円
計	20,313,359 円

2.自然環境の保全及び景観の維持、再生に関する事業

事業名	活用金額
本部町自然環境保全等事業	12,329,998 円
計	12,329,998 円

3.教育、文化、スポーツ活動の充実にに関する事業

事業名	活用金額
本部町教育環境向上事業	6,794,300 円
計	6,794,300 円

4.町民の健康増進及び福祉の向上に関する事業

事業名	活用金額
本部町健康・福祉充実事業	10,000,000 円
計	10,000,000 円

5.町民によるまちづくり活動の推進に関する事業

事業名	活用金額
本部町我が町づくり推進事業	2,124,000 円
計	2,124,000 円

6.その他目的達成のために町長が必要と認める事業

事業名	活用金額
本部町教育環境向上事業	19,448,198 円
本部町健康・福祉充実事業	3,095,175 円
計	22,543,373 円

令和2年度寄附金活用額	74,105,030 円
-------------	--------------

本部町ちゅらまちづくり寄附金を活用して実施した事業(令和2年度)

事業名	本部町強い経済力形成事業	
担当課	農林水産課・企画商工観光課	
事業内容	町施設である「田空の駅ハーソー公園」は、山・川・海と自然溢れる田園空間を活用し、貸し農園、ヤギなど動物とのふれあいができる施設である。今後は、キャンプ場・遊具整備を予定しており、更なる利用者増が期待されるため、来園案内窓口である建物を修繕し、施設利便性の向上を図った。その他、商工業振興を目的に町商工会へ補助金を交付したり、優良肉用子牛の生産及び育成の強化と和牛生産経営の安定的発展を図るため、生産者へ助成金を交付した。そして、町内の各種農業生産団体が組織された「本部町の農業を元気にするネットワークの会」が主催するもとぶ元気夕市の開催を支援することで、農林水産物の販売促進や生産者相互、生産者と消費者間の交流促進を図った。	
事業の実施方法	田空の駅ハーソー公園については、町が指定管理事業者である「もとぶバイオマス事業協同組合」へ管理委託料を支払い、管理業務全般を任せせた。もとぶ元気夕市については、町が観光協会へイベントの運営管理や支援業務を委託した。	
事業の金額	屋外敷地管理委託料(田空の駅ハーソー公園) 9,277,400円 商工会補助金 4,000,000円 子牛生産助成金 2,205,000円 もとぶ元気夕市支援事業 2,165,330円 農林水産物販売促進費 1,464,018円 本部町青年農業者の会補助金 600,000円 産業交流促進事業補助金 448,000円 本部町耕作放棄地対策事業補助金 92,000円 畜産共進会負担金 61,611円 合計 20,313,359円	
事業の実施により期待される効果	来町する観光客に、より満足感を持ってもらえる施設と環境づくりに寄与できた。観光業と商工業、農産物の生産者が一体となり、さらに本町経済を盛り上げる機運を醸成できた。	

活動状況(写真等)

田空の駅ハーソー公園の様子



本部町ちゅらまちづくり寄附金を活用して実施した事業(令和2年度)

事業名	本部町自然環境保全等事業		
担当課	企画商工観光課・農林水産課・建設課		
事業内容	もとぶ八重岳の景観保全のため、町道八重岳線(約4.5km)を中心に沿道の桜並木の下草刈りやツル刈り作業を年間を通して実施することで桜の保全育成に取り組んだ。また、桜の森公園のトイレ清掃や倒木等の対応も行うことで、安全で安心な環境づくりも行っている。また、町観光協会へ補助金を交付し、観光立町である本町の美化活動を始め様々な事業を実施させ、より満足度を感じられる景観を作れた。その他、町内にある障がい者通所施設の協力を得て、瀬底と崎本部、備瀬ビーチの清掃活動にも取り組んだ。		
事業の実施方法	4人の作業員を雇用し、もとぶ八重岳の景観保全作業を行っている。その他にも八重岳内のトイレ清掃も行い、心地よく来町者を迎えらるようにする。また、町観光協会の活動として沖縄美ら海水族館に向かう沿道や毎年1月の桜まつりの時期に八重岳に向かう沿道に花を植え、目的地に向かうまでも景観を楽しんでもらえるようにしている。		
事業の金額	もとぶ八重岳景観保全作業員	4,633,998円	
	観光協会補助金	4,000,000円	
	桜まつり運営補助金	3,000,000円	
	観光地保全委託料	396,000円	
	山里カルストイルミネーション支援	300,000円	
		合計	12,329,998円
事業の実施により期待される効果	もとぶ八重岳へのアクセス道を適切に維持管理することと花と緑あふれる景観を作ること、そして町内の主要なビーチを清掃することで交通安全確保と景観も楽しめる町づくりが行え、観光の町としてのイメージ向上が期待できる。		

活動状況(写真等)

もとぶ八重岳景観保全作業の様子・桜まつりなど



本部町ちゅらまちづくり寄附金を活用して実施した事業(令和2年度)

事業名	本部町教育環境向上事業	
担当課	教育委員会	
事業内容	各町立小学校・中学校(計7校)の均衡のとれた教育環境整備を目的に、校内で使用される教育関連の消耗品や管理消耗品、備品を購入した。学校現場において、校務管理システムを導入し、児童生徒の出席状況や成績管理等を行った。また、町内唯一の県立高校である本部高校で特進塾の実施を支援し、生徒の学習意欲と学力の向上を図り、高校後援会の活動(特進塾の受講料補助や検定料補助)も支援することで、町と後援会の両輪で将来の本部町を担う人材の育成をした。	
事業の実施方法	各学校から上がった要望を町で精査後、予算化し、購入した。また、特進塾運営企業と高校後援会へ補助金を交付し、その活動を支援した。	
事業の金額	町立小学校管理費・振興費 11,060,736円 町立中学校管理費・振興費 8,387,462円 校務支援システム保守委託料 2,566,300円 本部高校後援会支援補助金 1,774,000円 本部高校チャレンジ塾補助金 1,774,000円 大判プリンター 308,000円 バレーボール用ポール購入費 231,000円 地域人材紹介冊子作製費 121,000円 公民館講座謝礼金 20,000円 合計 26,242,498円	
事業の実施により期待される効果	学習支援と備品の整備を行うことで学校規模に関係なく、児童生徒の学びの場を創出できる。また、校務支援システム導入により、現場の教職員の負担軽減も図れた。そして、特進塾においては、部活動や文化活動など様々な分野で活躍する本部高校生徒を町を上げて支援することで、本部町に愛着を持ち、まちの未来を担う人材育成につながる事が期待できる。	

活動状況(写真等)



本部町ちゅらまちづくり寄附金を活用して実施した事業(令和2年度)

事業名	本部町健康・福祉充実事業	
担当課	福祉課・健康づくり推進課	
事業内容	<p>新生児支援金とは、町内の出生児を祝福するとともに、次代を担う子どもの健やかな成長を願い、出生児を養育している父または母、父母に養育されていない場合は養育者に新生児支援金を支給する(支援金の額: 第1子50,000円、第2子以降は出生ごとに50,000円を加算した額)。障がい児保育事業については、町内私立保育園または小規模保育事業所へ当該障がい児等の保育に係る保育士及び保育補助者を配置し、保育環境を充実させる。また、健康保険適用外となっている特定不妊治療費の一部を助成し、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図り、医療機関において実施される新生児聴覚スクリーニング検査費用の一部も助成することで検査への周知を行い、新生児聴覚障がいの早期発見早期治療へとつなげる。</p>	
事業の実施方法	<p>対象者または対象施設からの申請があって支給(給付・補助)がある形式を採っている。例えば、新生児支援金の支給を受けようとする者(児童の出生の日の1年以上前から引き続き本部町に住所を有する者)は、出生の日から1年以内に町長へ申請する必要がある、障がい児保育事業補助金については、障がい児の受入をしている保育園からの申請により、実施される(保育士1人につき月額基準額130,000円×配置月数、保育補助者1人につき月額基準額83,000円×配置月数)。</p>	
事業の金額	新生児支援金 障がい児保育事業補助金 特定不妊治療助成費 新生児聴覚スクリーニング費用助成金 避妊用具使用助成費 一般不妊治療助成費 妊婦検診費用助成金 一般不育治療助成費	10,000,000円 2,556,000円 300,000円 166,000円 38,140円 23,335円 9,820円 1,880円 合計 13,095,175円
事業の実施により期待される効果	<p>上記のような出生前後の支援を行うことで、子を養育する父母または養育者の心理的かつ金銭的負担軽減を図れる。またこれらが重層的に行われることで、子どもたちの健全な発育及び町福祉の向上につながる。</p>	

活動状況(写真等)



本部町ちゅらまちづくり寄附金を活用して実施した事業(令和2年度)

事業名	本部町我が町づくり推進事業		
担当課	農林水産課・総務課		
事業内容	伊豆味クメノサクラの施肥作業に対し、補助を行い町伊豆味区の素晴らしい景観づくりを支援した。そして、字浦崎の誕生から現在に至るまでの歴史の歩みを記録し、後世に伝えることを目的に作成された字誌発刊費用の1/2を補助した。		
事業の実施方法	伊豆味クメノサクラ祭り実行委員会事務局である「本部町花いっぱい推進協議会伊豆味支部」と字誌を作成した浦崎区へ補助金を交付し、その活動を支援した。		
事業の金額	クメノサクラによる地域興し事業補助金	1,618,000円	
	字誌作成補助金	506,000円	
		合計	2,124,000円
事業の実施により期待される効果	県外のソメイヨシノのように花びらが舞い散るクメノサクラは沖縄県では珍しい。伊豆味クメノサクラへの伊豆味区民による施肥作業に対し、補助を行うことで樹木の育成の研究や接ぎ木技能向上の取組みへもつなげられ、後世にクメノサクラを保存していく。この活動を継続することが伊豆味区の持続可能な地域づくりともなる。		

活動状況(写真等)

施肥活動の様子と完成した字誌

